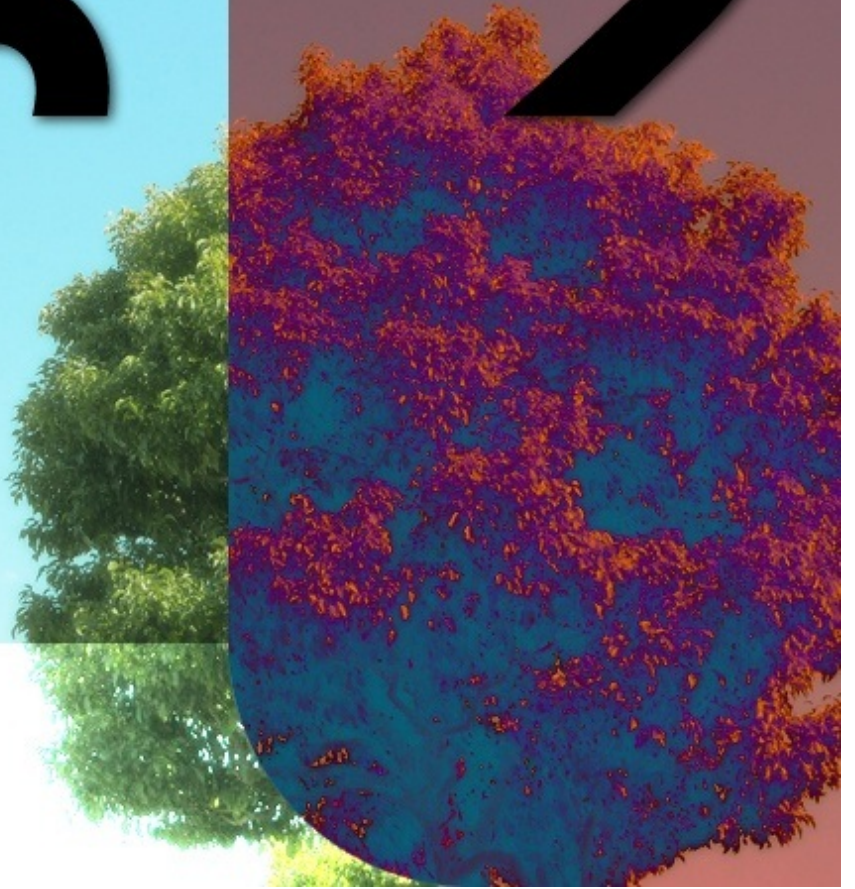
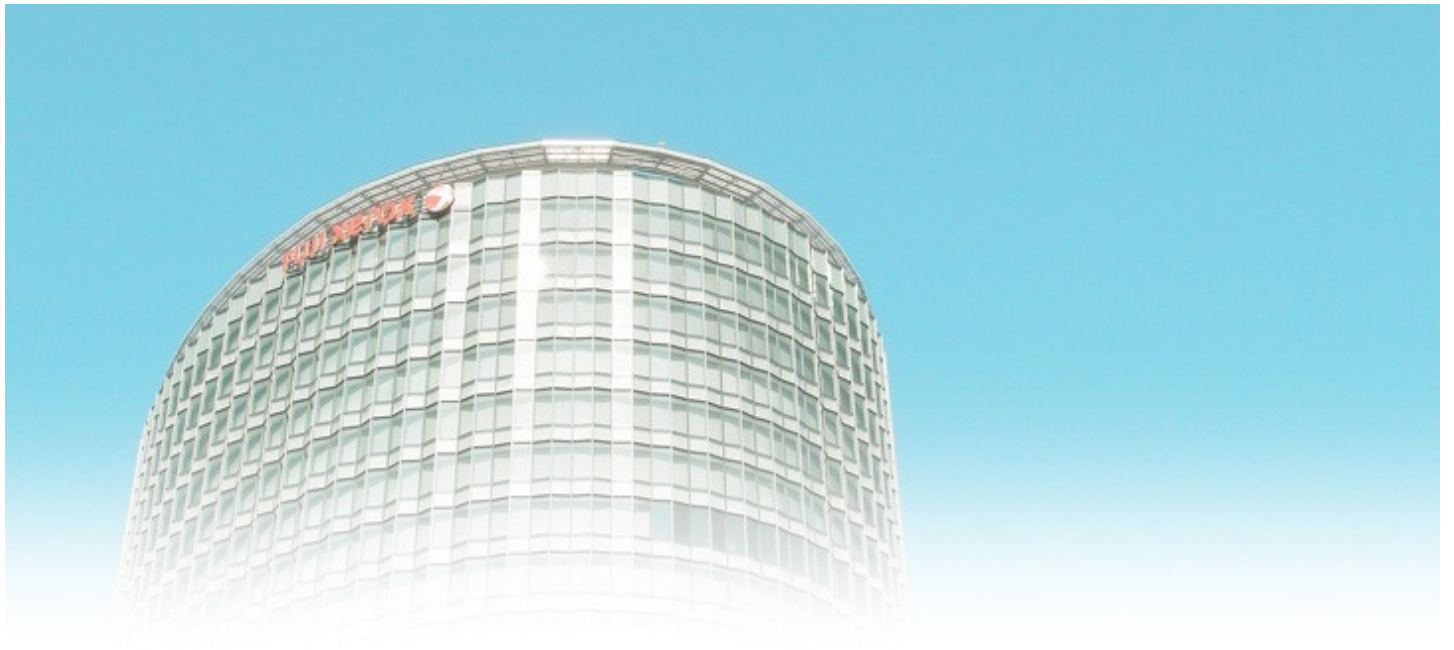


MONTHLY

0705



Vol. 1



はじめに

特集 「春」

あめのおきかた

大友裕司

アンティーク

紫藤春彦

連載1 / 今月の3DCG

紫藤春彦

連載2 / ハンニャシンキョウ

綾野俊介

連載3 / iPadでPainting

スギオカカズキ

おわりに

はじめに

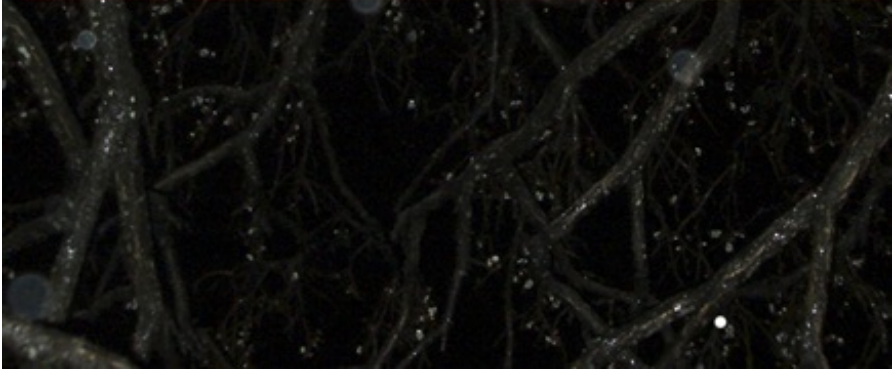
「OSAS」は、ビーワークスという会社で働く有志が集まって作った電子マガジンです。

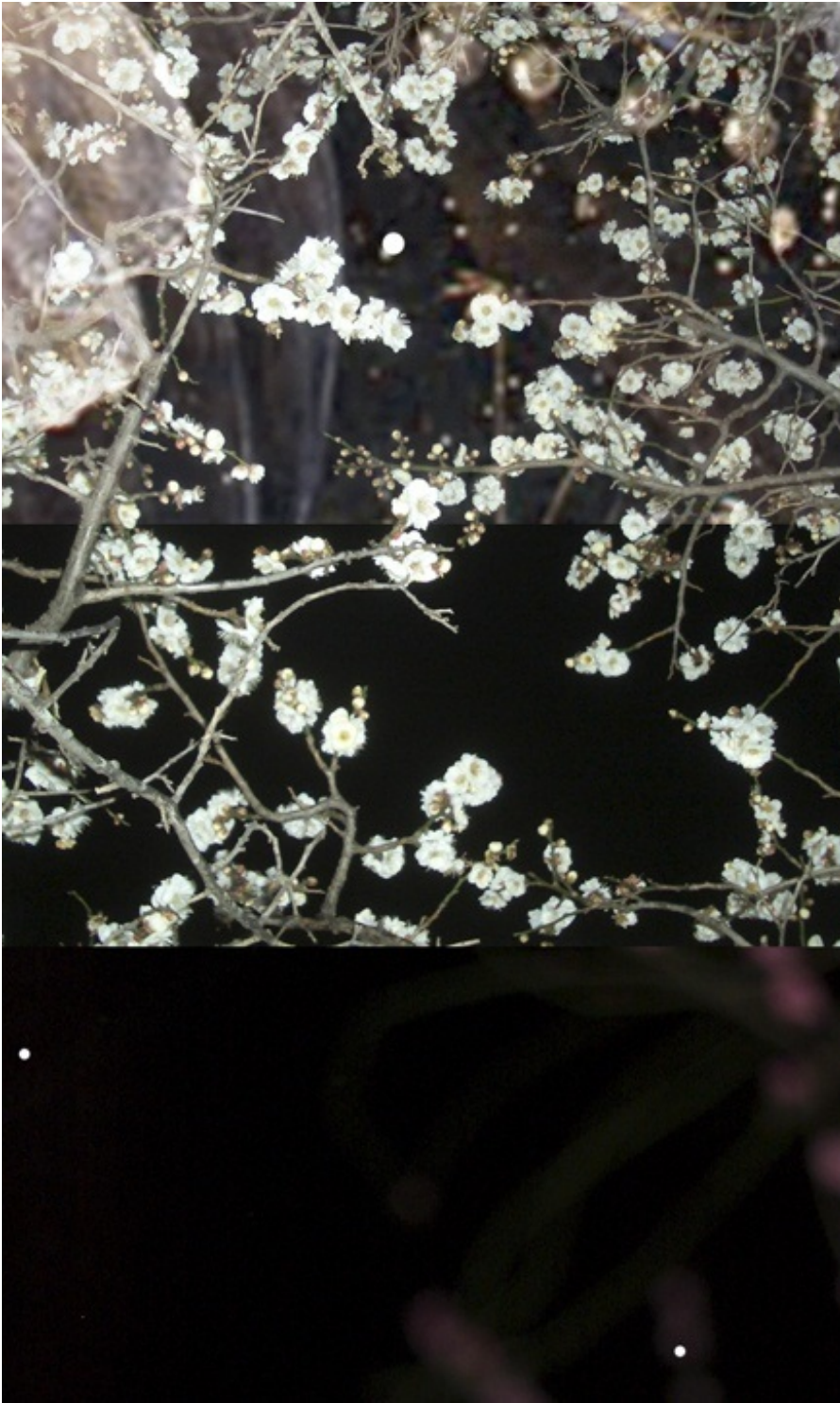
と言っても、会社の仕事には直接関係なく、あくまで自主的な活動。写真をはじめとして、画像加工や3D、iPadによるペインティングなど、デジタルなヴィジュアルに関する楽しさを、お伝えしていくつもりです。

発起人は、大友裕司、紫藤春彦、綾野俊介、スギオカカズキの4人。雑誌名の「OSAS」は、大友、紫藤、綾野、スギオカの頭文字を組み合わせたものです。



「あめのおきかた」





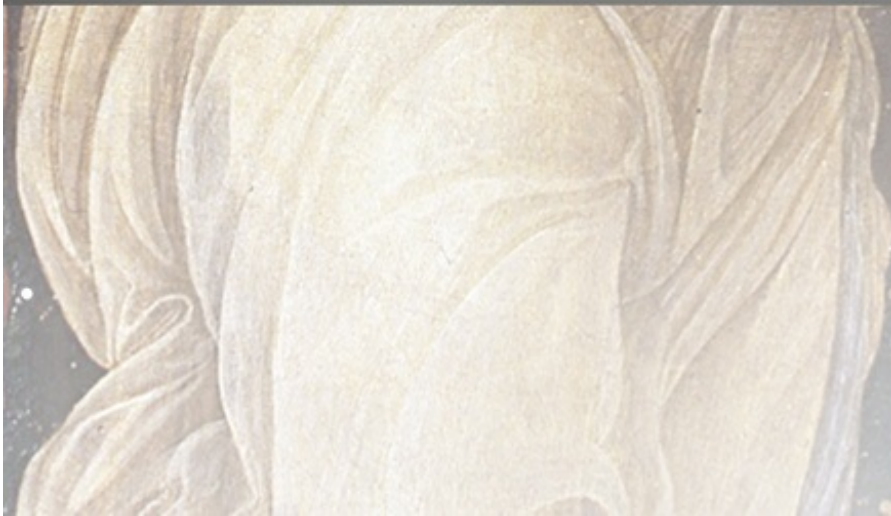
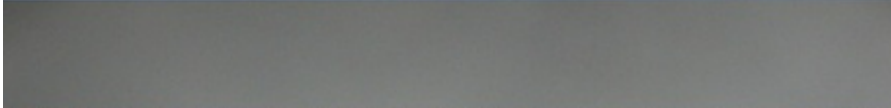






















自然も 人工物も

部屋に飾っておきたいと思うほど

美しく 儂く 眩しい

そんな瞬間がある

幸い僕らにはその瞬間を写真として

切り取り 彩り

そばに置いておける

何気ないものに息吹きを

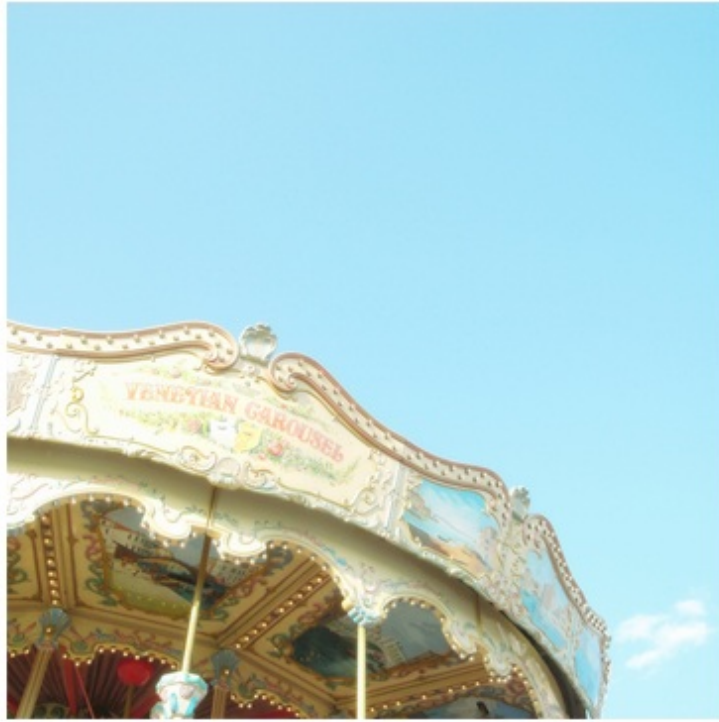
それが僕の

Antique





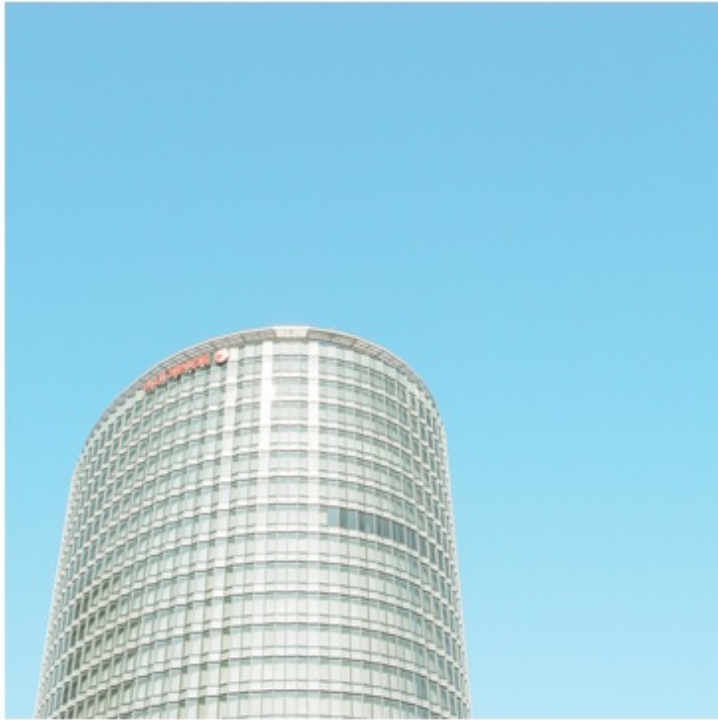








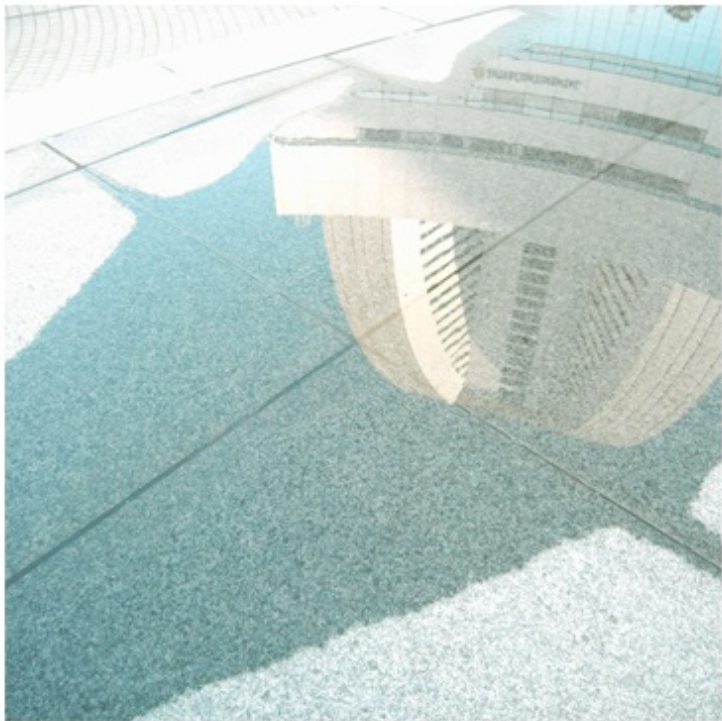


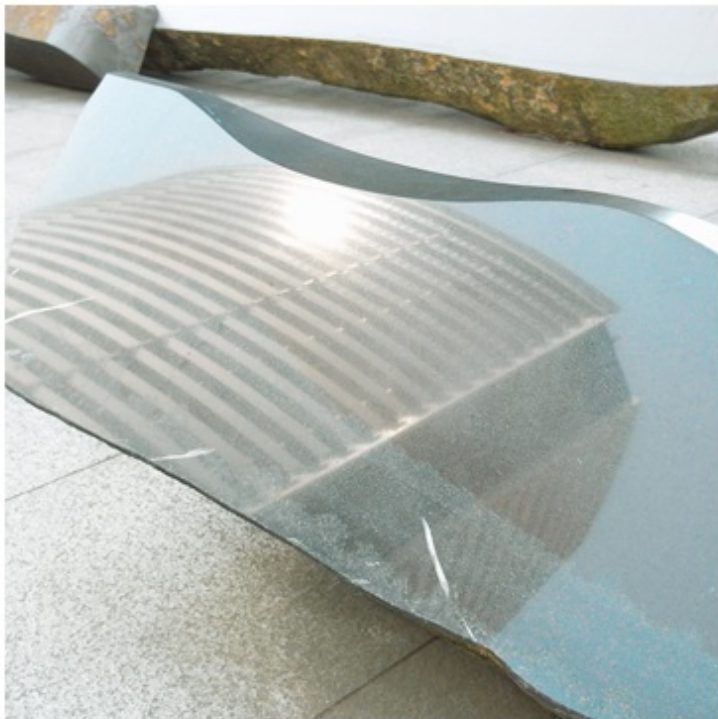
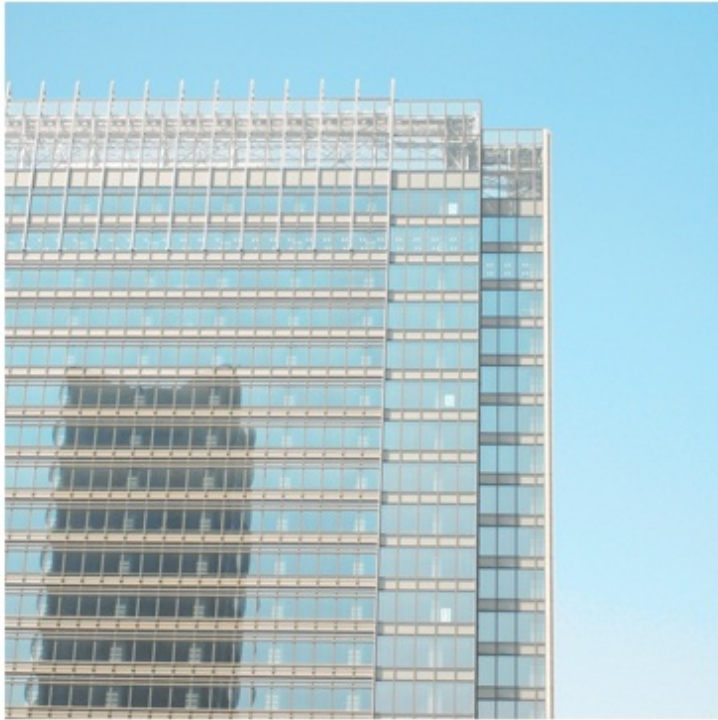












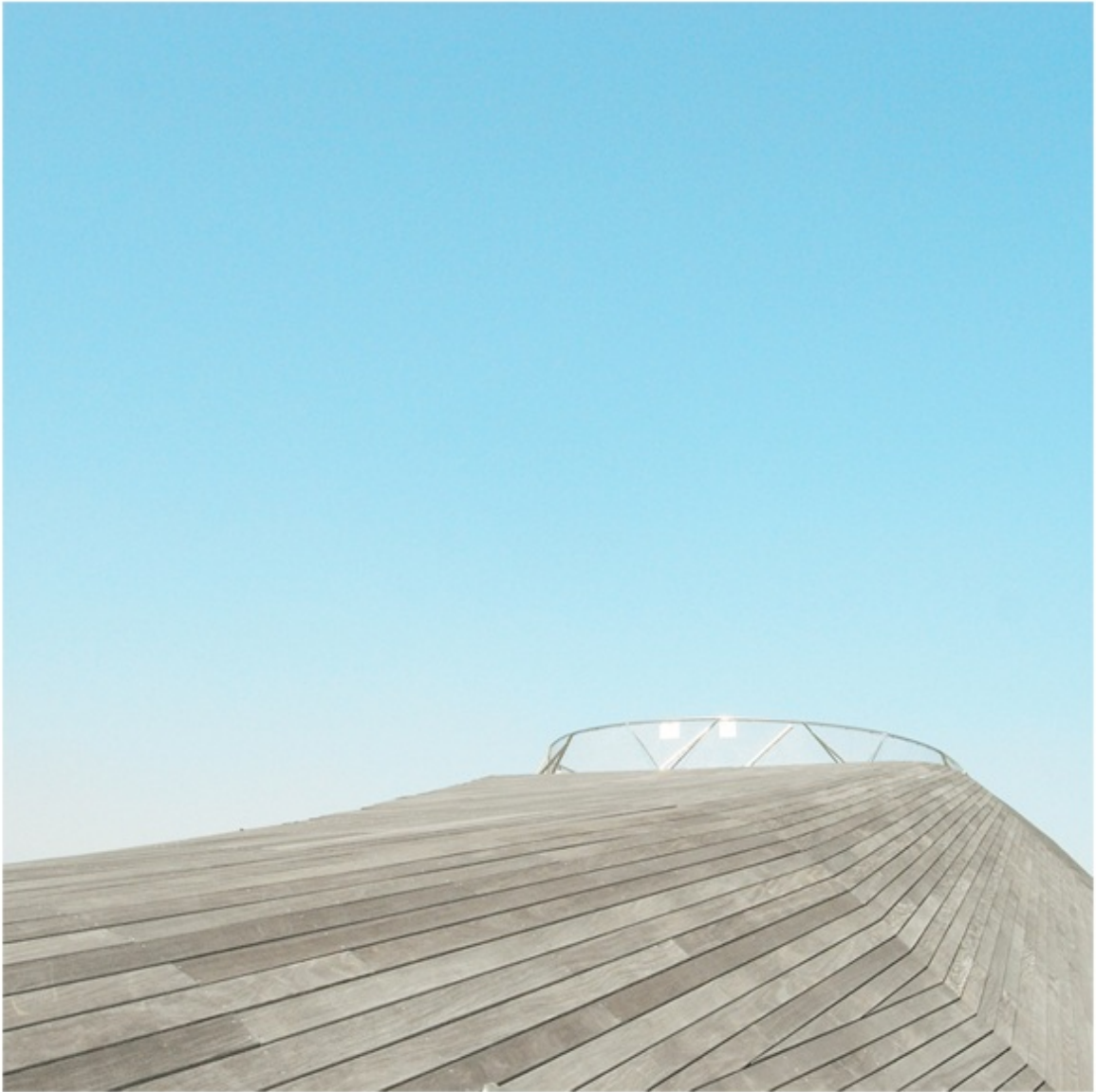






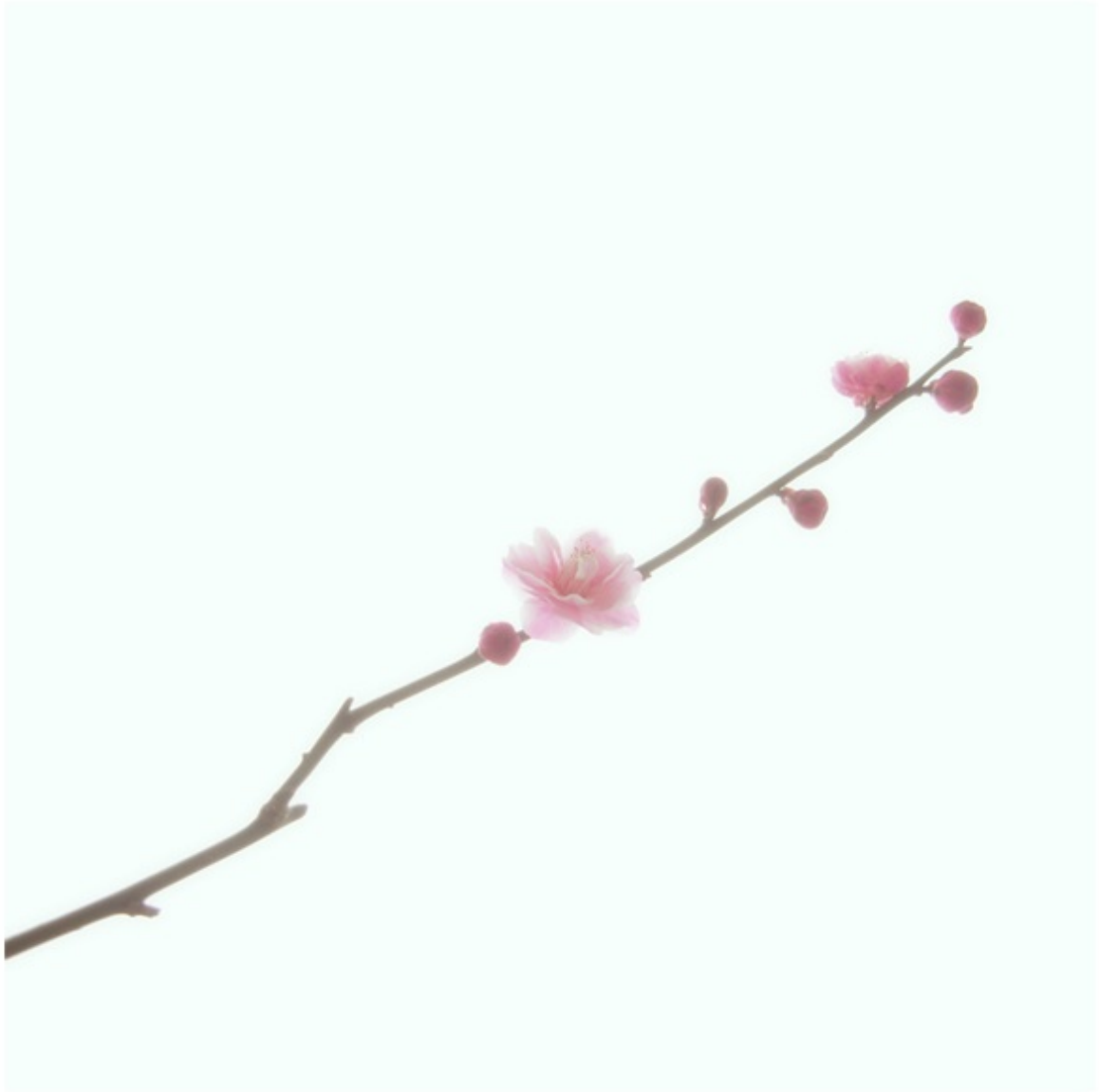




















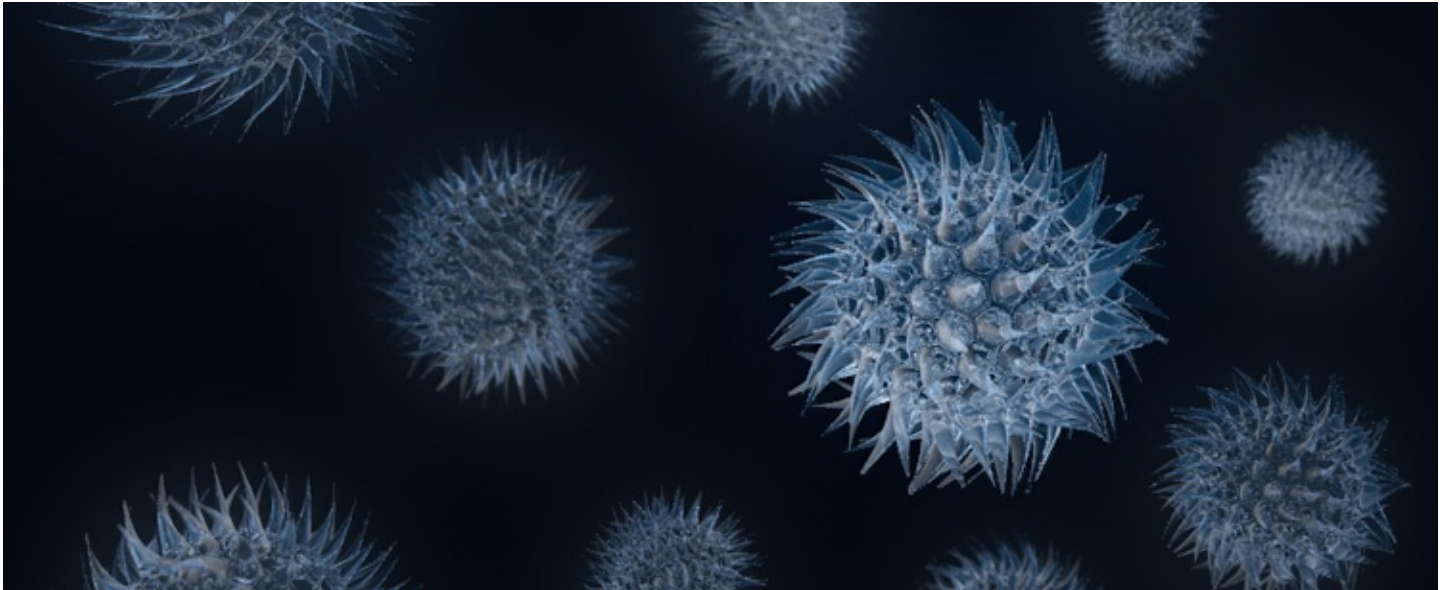








Fin

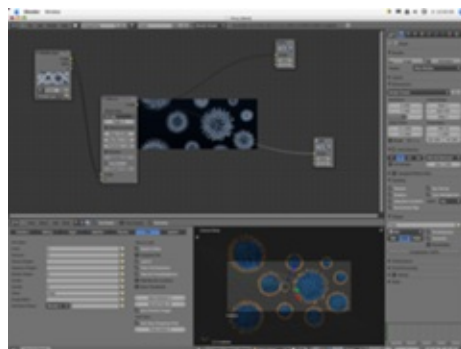
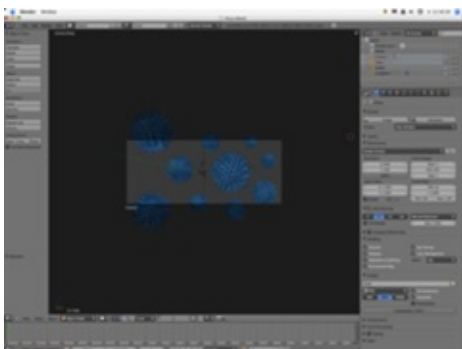


タイトル
「花粉」

このコーナーでは3DCGソフト「blender」を使って作成した画像を掲載していきます。
blenderはフリーソフトでありながら市販のソフトにも負けない高機能を有しています。
今回はblenderの公式ホームページ上にあるチュートリアルを参考に画像を作成しました。

私はまだ初心者ですので、しばらくはチュートリアルにそった画像を掲載しますが
今後はオリジナル作品も発表できたらと思っています。

すこしでも3DCGに興味を持って頂けたら幸いです！



↑blenderのインターフェイス

blender公式HP:www.blender.org/

大般若波羅蜜多經

ハニナシキョウ

日本書紀に「書生を聚めて、始めて一切經を川原寺に写す。」なんてありますな。

写經も写真も「写す」わけであります。

毎月、一文字ずつ掲載してまいります。（創刊号なので今回は二文字！）

作業としては、習字→スキャン→Photoshopでチョイ加工をしております。



OMAKE SHUN AYANO PHOTOGRAPH

テーマに沿って素人綾野がiPhone!で撮影

3月12日 帰宅難民で一夜あかし、徒歩にて自宅に向かう途中そんな2枚







で Paainting

Sugioka Kazuki

iPadにはいろいろなペイントアプリがありますが、わたしはSketchBook ProとArtRageという2つのアプリを使っています。そのうちメインは、SketchBook Pro。ArtRageは水彩等の味が出せて良いのですが、細かい描写には向かないので絵コンテ用に使っています。それらを使ったiPad用のマンガ（PCでも閲覧可能）は、「青い街」という電子書店でご覧いただけます。

>>>> [青い街](#)

なお、今回はアプリの全体像の紹介なので、対比として「お絵描きPad」と「neu.Draw」も取り上げてみました。次号以降は、SketchBook ProとArtRageの使い方に関して、少し詳しく解説していくつもりです。



SketchBook Pro



価格 : 900円

販売元 : Autodesk

>>>>> [App Store](#)

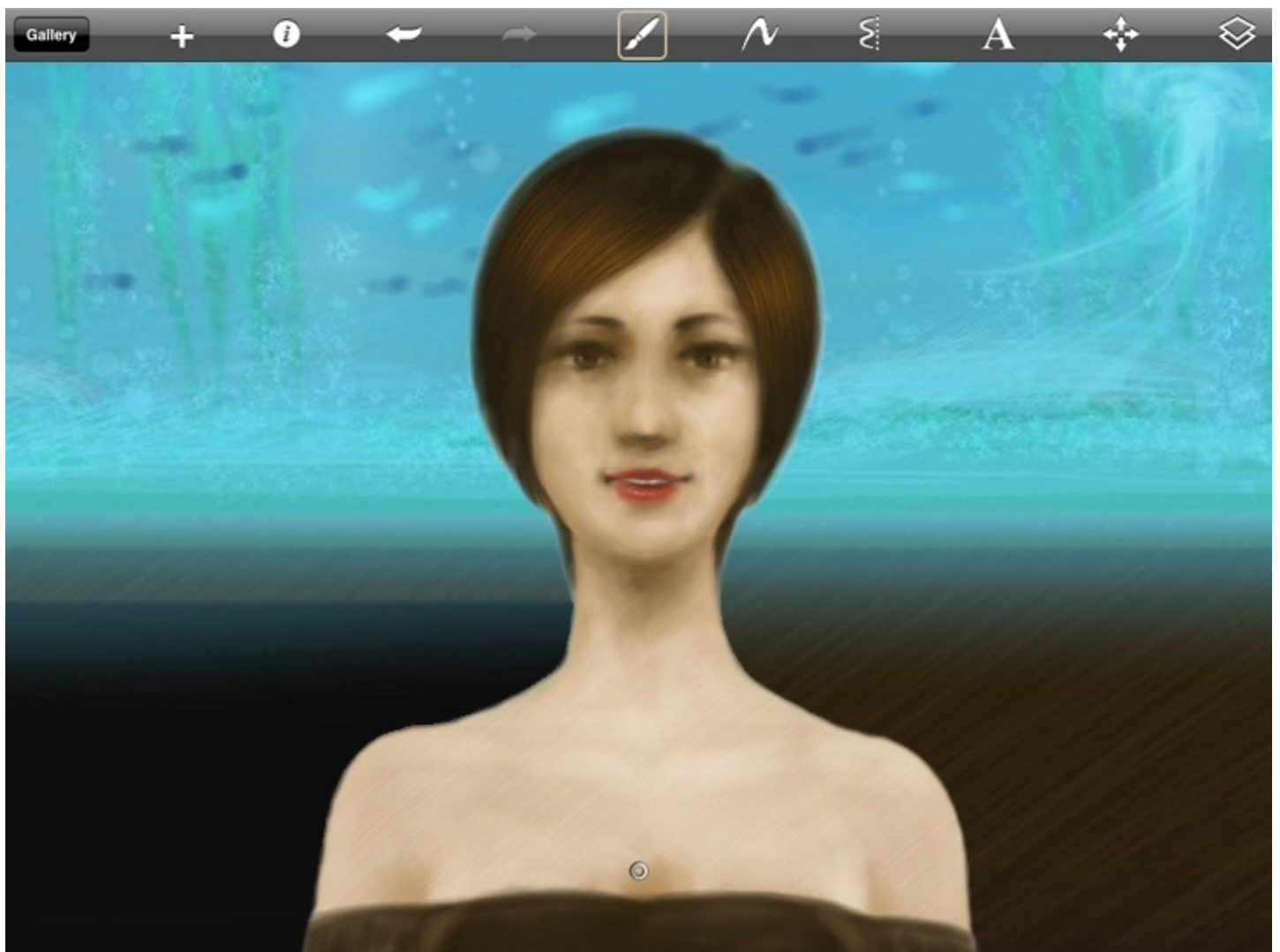
現在、メインで使っているアプリです。

ツールに関して細かい設定ができ、描写の感度も高いので、

ほぼ思った通りに描くことができます。

逆に言えば、自分の力量以上のことはできない感じで、

ヘタなところはヘタなまま出てしまいます（苦笑）



SketchBook Proのパレット

通常は隠れているのですが、使う時には画面の1/3くらいの大きさでドーンと出てきます。

パレットを触る時には絵が隠れていても良いので、小さく出るよりも使いやすいと思います。

ツールに関しては、鉛筆やブラシなどのタッチを選択し、さらに太さと透明度を選べます（パレット左半分）。

色に関しては、色相、彩度、明度の3軸です（パレット右半分）。



ArtRage



価格 : 800円

販売元 : Ambient Design Ltd.

>>>>> [App Store](#)

色を重ねる際の感度が今一つなので、細かい描写には向いていません。

むしろ、水彩のにじみやマチエールの凹凸などがきちんと出るので、

そのあたりの効果を活かしたいアプリです。

名前に反して、こちらの方がスケッチブックっぽい感じ。

わたしは絵コンテを描くのに使っています。



ArtRageのパレット

ArtRageのパレットは、左下と右下隅を使います。

ツール側はタッチと設定が別々のウィンドウで出てきます。画面を邪魔しないように出てくれるのは親切な気もしますが、画面の一部を隠してしまうことに変わりはありません。また、しまった状態でも小さなアイコンが残るのが実は邪魔。3つのパレットを別々に出し入れするのもけっこう手間であらう。案外使い勝手の悪い仕様です。



お絵描きPad



価格 : 115円

販売元 : Darren Murtha

>>>>> [App Store](#)

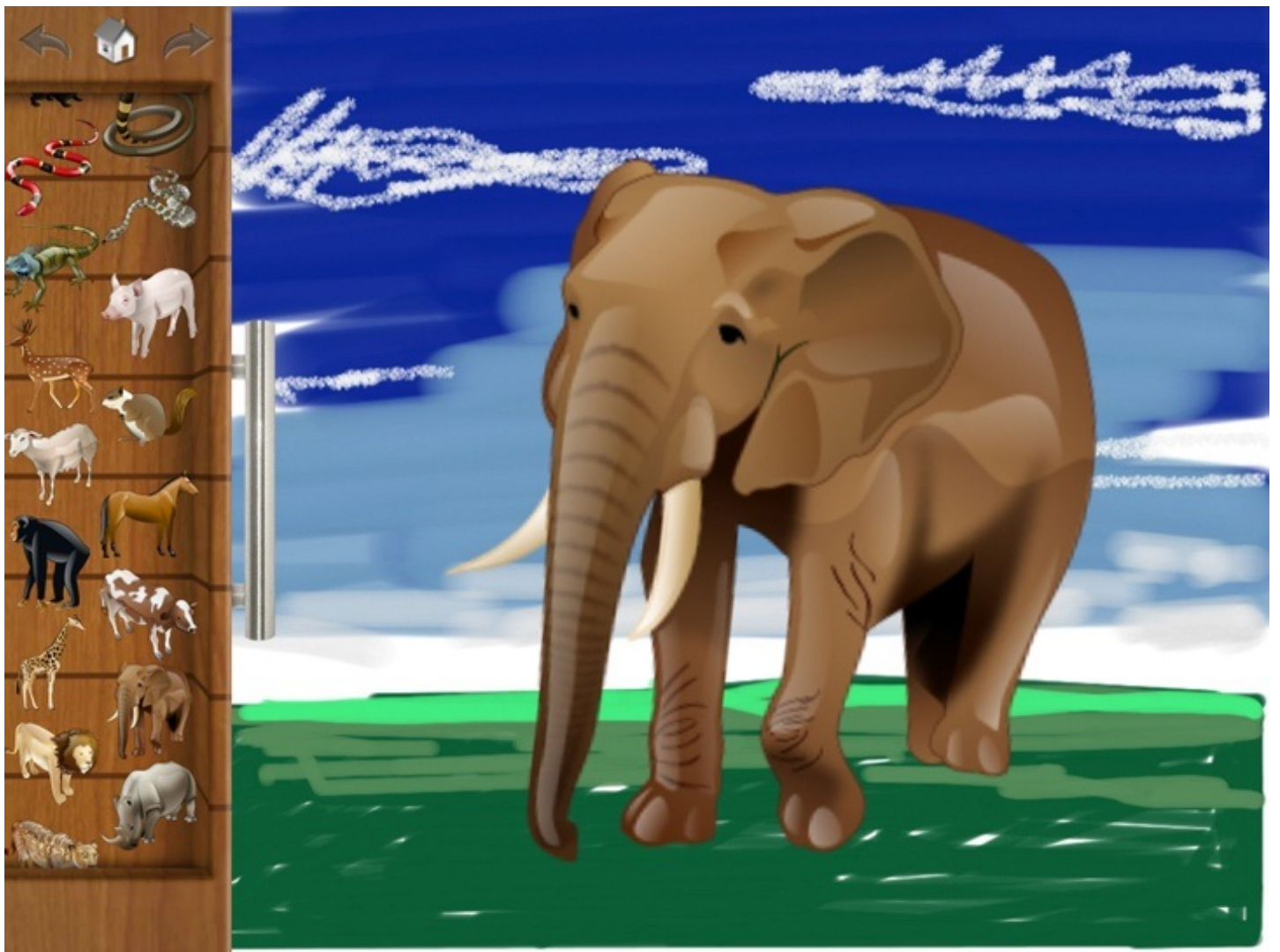
簡単なメモだったら、こちらもお薦めです。

スクラップブックに動物や乗り物などの画像があるので、

それをペタッと貼って、大きさを变えるだけで出来上がり。

下の絵は、背景を含めて1分くらいでチャッチャと描いたものです。

115円という値段も嬉しいですね。



お絵描きPadのパレット

このアプリも細かい描写は苦手ですが、そもそも「お絵描き」用なので。
わが家では、主に子供たちが遊ぶのに使っています。
ちなみに、下の背景は空を絵の具で描き、雲は色鉛筆、地面はマーカーで
塗りました。
スピーディーに描けるところは、大きな魅力です。





価格 : 無料

販売元 : neu.Pen LLC

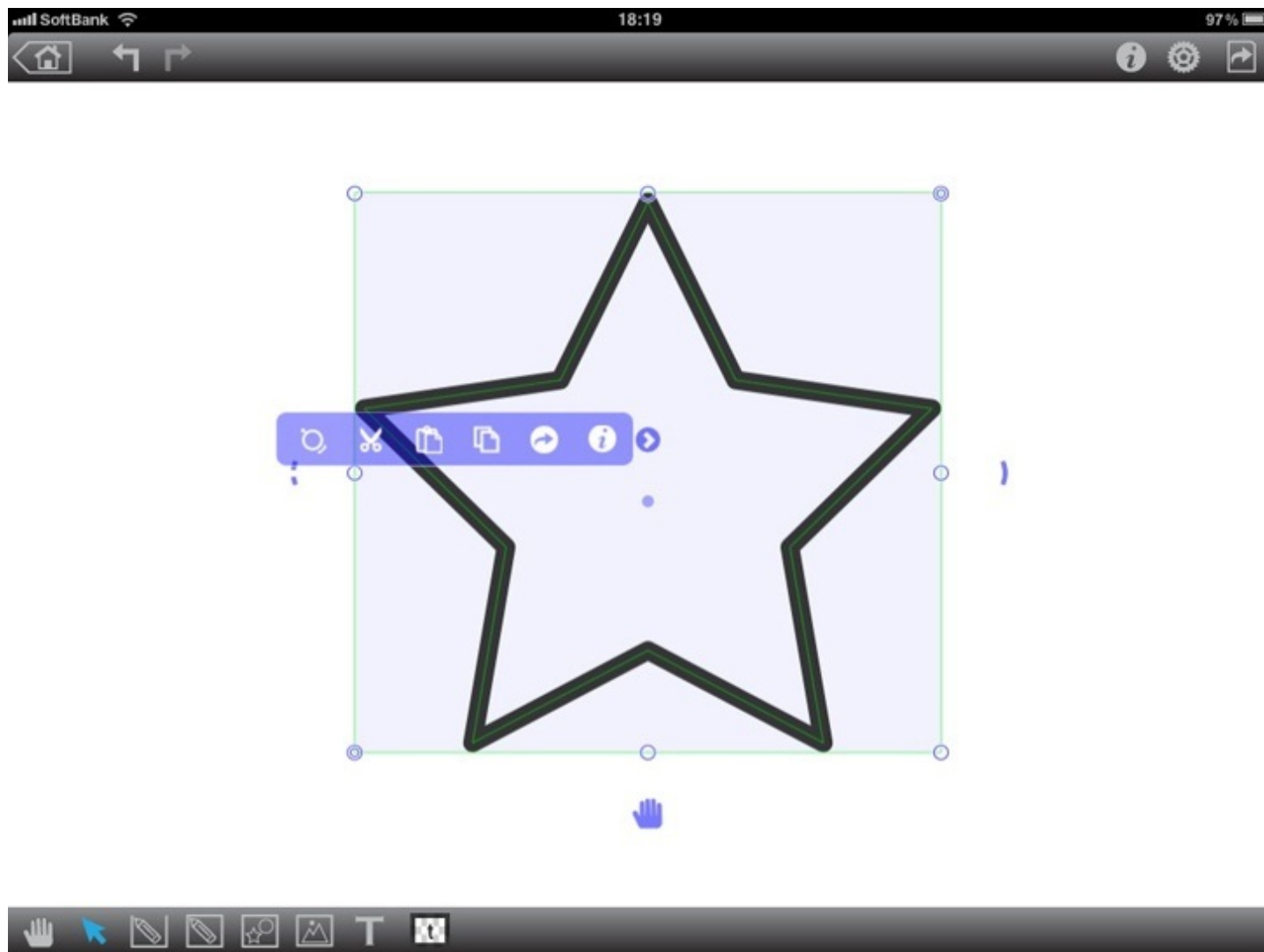
>>>>> [App Store](#)

上記の3アプリはビットマップ系ですが、これはドロー系のアプリ。
DTP用ソフトにてらして言えば、Illustrator的なデータの持ち方です。
つまり、大きさに依存しないデータなので、異なるデバイスに
対応させやすいかも知れません。
しかも、無料です！



neu.Drawのパレット

この星は、図形ツールから引っ張ってきたものです。
これを加工するには、触ると出てくるコンソールを使うのですが、
あまり見たことのない仕様で最初はちょっと面喰らいます。
が、よく考えられており、これはこれで触って楽しいアプリです。



それと、細かい話ですが、SketchBook Proとお絵描きPadでは
上部のバーが隠れてくれるのに対し、
ArtRageとneu.Drawはそれが出たままになります。
わずか20pixelですが、やはり大きく使えた方が気持ちいいですね。

以上！

次号からはSketchBook ProとArtRageについて、
もう少し詳しく解説していきます。

おわりに

電子マガジンで「見せられること」と、「見せられないこと」を探しながら作っていきましたが、まだ見つけられていない気がしています。難しいですが、楽しかったです。（大友裕司）

久しぶりの作品を電子書籍という形で発表できたことを嬉しく思います！
まだまだやりたい事が多々あるので、皆さんの意見を参考にドンドン表現を追求していきたいと思います！（紫藤春彦）

写経、毎月1文字だと完成するのに22年かかる...（綾野俊介）

この電子マガジンの話が出たのは、今年の1月末くらいだったでしょうか。そこから2ヶ月ほどで、ひとまず発行までたどりつきました。作ること自体で十分楽しめましたが、見てくれる方に楽しんでもらえれば、さらに嬉しく思います。（スギオカカズキ）

